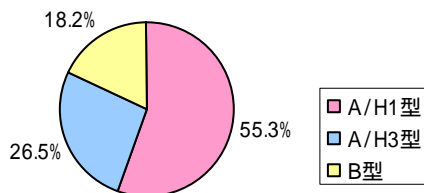


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

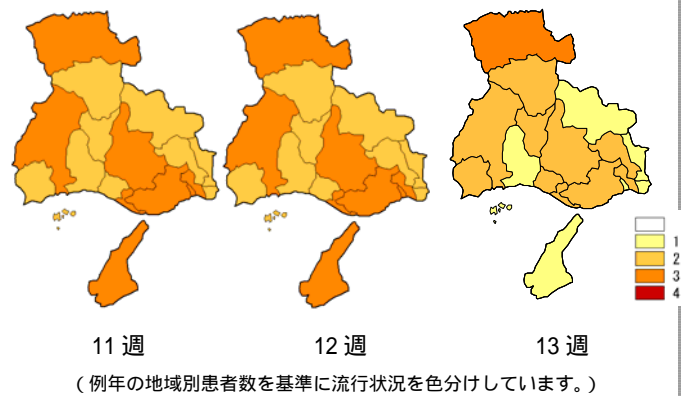
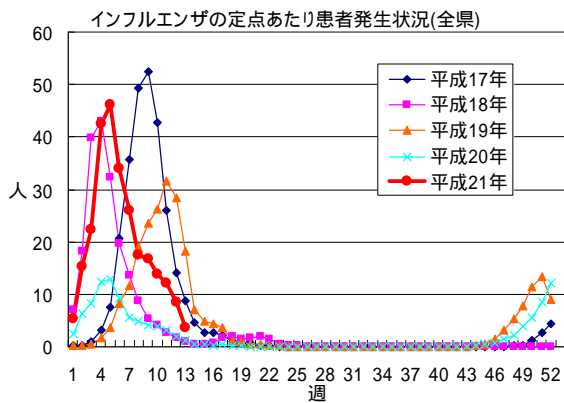
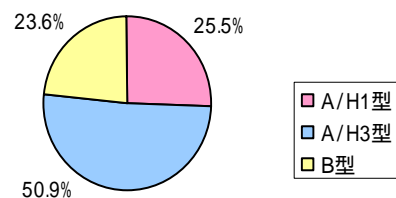
インフルエンザ情報

今週、定点あたりの患者数は減少し、**3.60 人** (先週 8.44 人) となりました。県内の学級閉鎖等の状況は、第 12 週の集計で 33 施設 (第 11 週 96 施設) 欠席者数 286 人 (同 1,043 人) と先週から減少しました。4 月 2 日現在、インフルエンザウイルスの検出は、全国では A/H1 (A ソ連) 型 2,797 件、A/H3 (A 香港) 型 1,340 件、B 型 920 件となっています。累積数では A/H1 (A ソ連) 型が半数以上を占めていますが、1 週間に新たに報告された分離・検出数は B 型が 40% を占めており、B 型の分離割合が増加しています。県内では A/H1 (A ソ連) 型 42 件、A/H3 (A 香港) 型 84 件、B 型 39 件が検出されています。インフルエンザの発生動向にはもうしばらく注意が必要です。

全国
インフルエンザウイルス型別分離・検出報告割合
2008/2009シーズン n=4557 4月2日現在



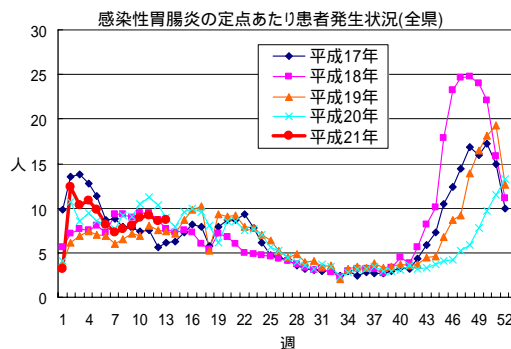
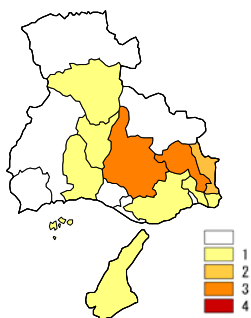
兵庫県
インフルエンザウイルス型別分離・検出報告割合
2008/2009シーズン n=165 4月2日現在累積



定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

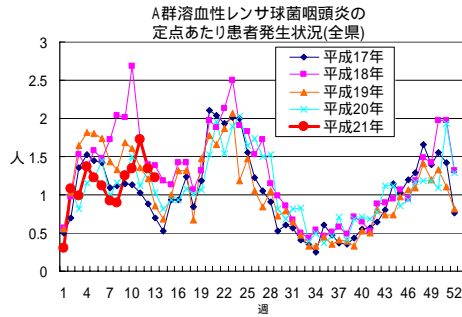
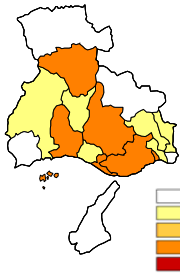
感染性胃腸炎

今週患者数がわずかに増加しました。患者検体から検出される病原体はノロウイルスであることが多いですが、春期はロタウイルスも増加するといわれています。



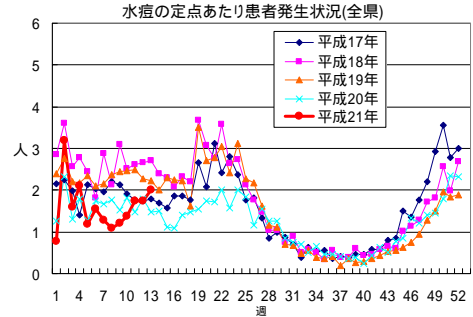
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

今週、患者数はやや減少しましたが、依然として多い状況にあります。



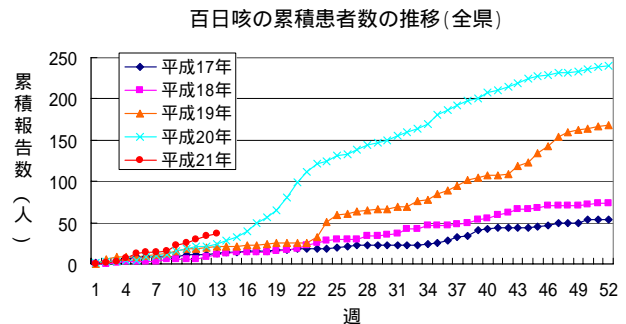
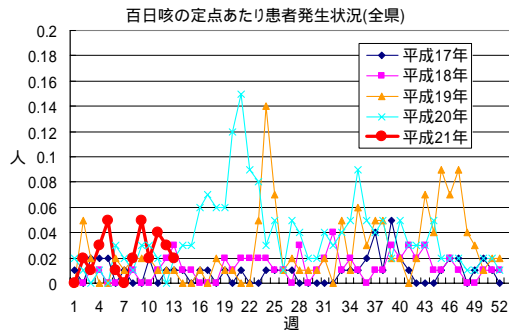
水痘

今週わずかに患者数が増加しました。例年冬期から6月頃まで流行がみられる感染症です。

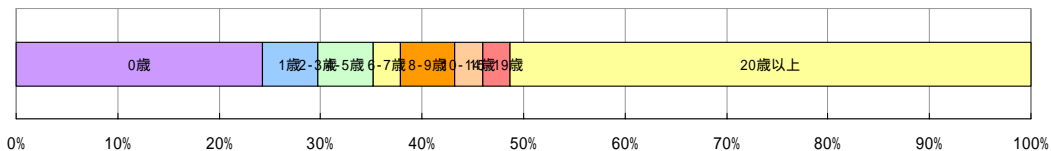


百日咳

今週、3人の報告がありました。累積報告数は過去5年間の同時期と比較して最も多くなっています。年齢階級別にみると、累積報告数の半数を20歳以上が占めている状況です。



百日咳の報告症例の年齢・年齢群別割合 n=37



定点あたり患者数の上位10位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	8.70	8.57	+0.13	6位	流行性角結膜炎	0.31	0.34	-0.03
2位	インフルエンザ	3.60	8.44	-4.84	7位	流行性耳下腺炎	0.30	0.28	+0.02
3位	水痘	2.02	1.75	+0.27	8位	咽頭結膜熱	0.20	0.11	+0.09
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.22	1.34	-0.12	9位	RSウイルス感染症	0.12	0.12	+0.00
5位	突発性発しん	0.51	0.47	+0.04	10位	伝染性紅斑	0.10	0.13	-0.03

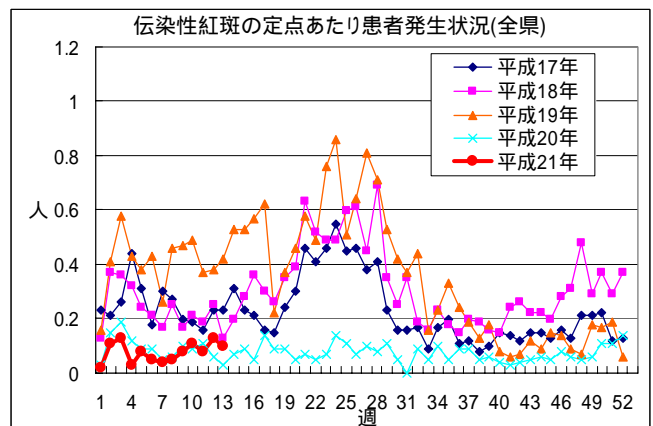
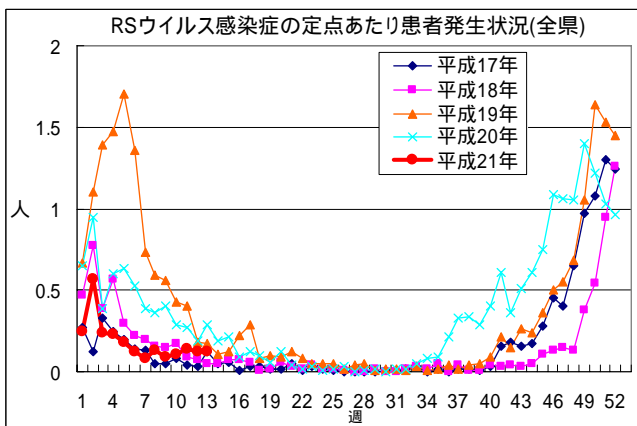
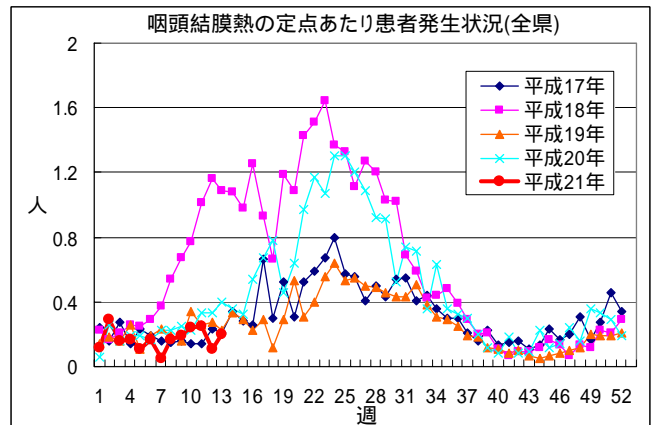
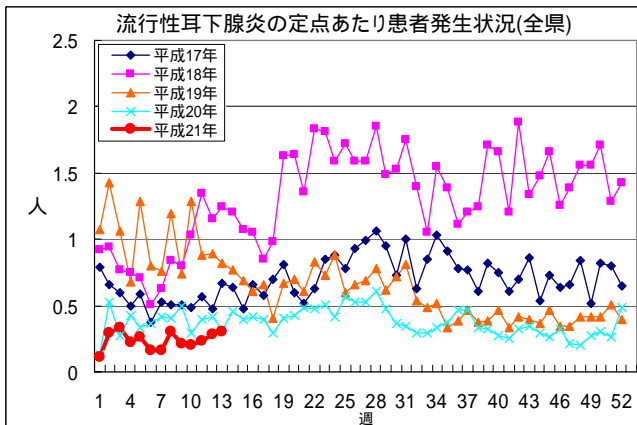
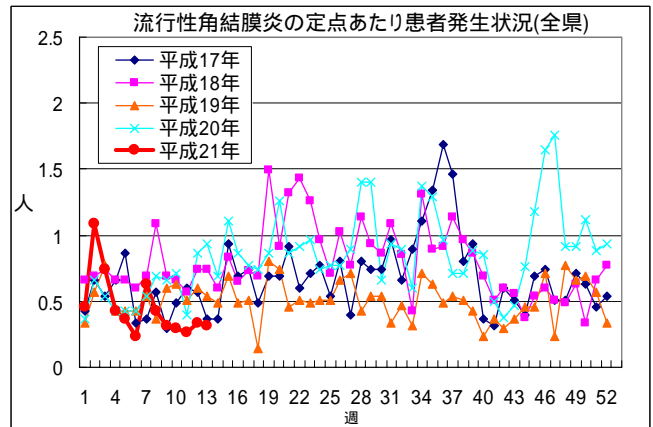
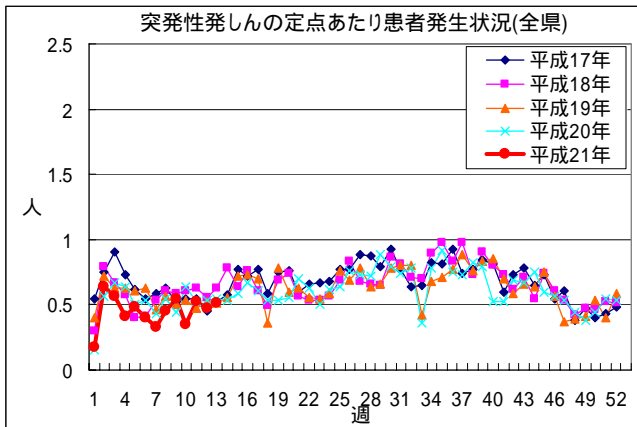
全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 32名 （神戸市16名、尼崎市2名、姫路市5名、伊丹保健所管内2名、明石保健所管内5名、加古川保健所管内1名、赤穂保健所管内1名）
3類感染症	細菌性赤痢 1名 （姫路市；FLEXNERI（B群）、海外渡航者）
4類感染症	レジオネラ症 1名 （豊岡保健所管内）
5類感染症	アメーバ赤痢 3名 （神戸市2名、西宮市1名） 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名 （豊岡保健所管内）
追加報告	報告はありません。

検査情報（兵庫県立健康環境科学研究所センター）

姫路市内の医療機関を受診した1名（1歳）から**アデノウイルス1型**が、4名（0～6歳）から**アデノウイルス2型**が、1名（3歳）から**アデノウイルス3型**がそれぞれ分離されました。

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。